

9月例会 袴ヶ仙(美作市) 標高 930.4 m 三等三角点

実施日 2018(平成30)年9月27日(木)

天候 曇り 一時通り雨 時々晴れ

参加者 CL森田 SL桑野^洋 小倉 高仁

船越 近藤^嗣 近藤^浩 西崎 佐藤^綾 三村 藤川^豊 藤川^神 水畑 岡野 喜多 墨江 佐々木^順 梶原
前田 (計19名) 佐藤^光(体験山行) 黒瀬(体調により近傍散策) (合計21名)

行程 岡山駅西口(7:00)⇒道の駅彩葉茶屋(9:00 トイレ)⇒塩木登山口(9:40-10:00 開会行事)→支尾根(11:40)
→烏帽子岩(12:00-05)→山頂(12:20-50 昼食)→坊主岬(13:30)→林道出合(14:00)→木地山到着(14:40-
15:00 閉会行事)⇒道の駅彩葉茶屋⇒岡山駅西口(18:00)

概要 塩木登山口から舗装された林道を登って行きます。旧終点駐車広場先の沢を渡ると荒れた林道歩きです。暫くすると、踏み跡が分かり難い谷沿いの山道となり、苦しい急登を頑張ります。熊の出没が多い地域でもあり、熊鈴等を鳴らしながら注意して登ります。烏帽子岩では表面に刻まれているとされる古代文字(シュメール文字)を全員で探します



古代文字か？

袴ヶ仙山頂からは東方向に日名倉山や後山連峰が望めましたが、西方向に見えるはずの那岐山はガスで見えません。

烏帽子岩にて

山頂で昼食後、定まったルートは無い北斜面を坊主岬に向かって下って行きます。最初は北東方向にコンパスで方向を定め、稜線に沿って倒木を避けながら下ります。急斜面に変化するポイントからは北に向かった急降下です。”ワイルドだね”との声も聞こえます。急斜面を下った後は、歩き易い細尾根に乗ります。この細尾根を下って行くと、今は廃道となった坊主岬(戸国越え)です。ここには、文化七年(1810)と刻まれた小さな地藏石仏が立てられています。ここから木地山集落に向け尾根を下っていくと林道に出ます。木地山集落は、山から山へと移動を繰り返していた木地師が定住して出来た集落で、昭和49年当時は35戸全部が「小椋」姓だったそうです。最後に、地元の氏神である「山の神」並びに、木地師の祖神とされる惟喬(これたか)親王が祀られた「筒井神社の祠」の広場前で閉会行事を終え帰路に就きました。(森田 記)



袴ヶ仙山頂にて



坊主岬